

テニスクラブの会員がコーチに求める資質に関する研究

A study of coach's ability that players go to a tennis club want

1K06A252

指導教員 主査 堀野博幸先生

山田承子

副査 奥野景介先生

【序論】

テニスは、老若男女に広く行われているスポーツである。また、高齢者が生涯スポーツとして楽しむテニスもあれば、青年がプロを目指して、競技として取り組むテニスもあり、その人の世代、状況によってテニスの意味は幅広い。テニス選手にとって、テニスの意味が違えば、当然目的も違い、その選手を指導するコーチに求められる資質はかわってくる。しかし中には家族、友人とテニスをする者、コーチのいない団体でテニスをする者も多い。この研究ではコーチから指導を求めてテニスクラブに入会した会員を対象とし、テニス選手の状況に応じて求められるコーチ像を明らかにしたい。

【方法】

埼玉県某テニスクラブに通う会員、210人(男女比約10:7)を対象にアンケート調査を実施した。そのうち小学生、中学生、高校生は週1回の一般クラスと、週4回の選手育成クラスを対象に49人実施した。19歳以上は週1回の一般クラスで160人だった。また、このテニスクラブのコーチ18人にもアンケートを実施した。調査にあたり、調査の目的、利用について説明し了解を得た。集まった回答を整理・分析し、それぞれの要因を割り出し、テニス選手が求めるコーチ像、その理由、現在のコーチの満足度とその理由を調査した。また、このクラブのテニスコーチにも良いコーチとは何か、自分がどのようなコーチか、会員が自分のレッスンに満足しているかどうかなどをアンケート調査

した。アンケートの内容は先行研究、10年以上テニスコーチの経験があるコーチ3人の意見を参考にした。

【結果】

全会員が大事だと思うコーチの資質は、「指導」58.7%(244個)、「楽しさ」18.4%(76個)、「コミュニケーション能力」10.7%(44個)、「会員に対する動機づけ」5.3%(22個)、「性格や人柄」3.6%(15個)、「その他」3.2%(13個)という結果になった。具体的には一般も競技もジュニアクラス会員ではよりコーチに「コミュニケーション能力」を求めている。全コーチが大事だと思うコーチの資質は、「指導」54.0%(27個)、「楽しさ」30.0%(15個)、「コミュニケーション能力」7.0%(14個)、「会員に対する動機づけ」2.0%(1個)、「性格や人柄」0.0%(0個)、「その他」0.0%(0個)という結果で、全会員とほぼ同じ結果となった。しかし社員、アルバイト、と雇用形態で分けるとその割合は大きく異なる。アルバイトコーチが「指導」、「楽しさ」に偏っているのに対し、社員コーチは「指導」、社員コーチは「指導」、「楽しさ」、「コミュニケーション能力」の3つをバランスよく重視していた。

【考察】

クラスごとで、コーチに求める資質が大きく異なることから、コーチは会員にあわせて、提供するサービスを変えなければならない。また、社員コーチとアルバイトコーチの間に意識の違いがあることは否めない。よいテニスクラブを

作るためには、社員コーチとアルバイトコーチ
のコミュニケーションも欠かせない。